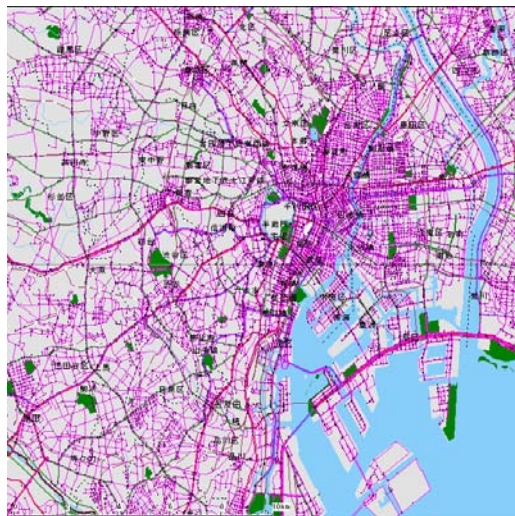


国内で初めて、タクシーからの車両位置の管理情報を活用した 交通情報提供サービスを発売開始

日立製作所オートモティブシステムグループ(グループ長&CEO: 本田恭彦/以下、日立)は、このたび、タクシーに取り付けられた無線を通じて入手することができる車両位置管理情報(プローブ情報)(*1)を日立独自の交通予測技術と組み合わせた、高精度な交通情報提供サービスの発売を開始します。数千台のタクシーからのプローブ情報を用いて、リアルタイムで配信・提供する交通情報提供サービスは国内で初めてです。

本サービスの第一弾として、今年10月より、携帯電話のモバイルサイト「ナビダス渋滞情報」(株式会社エディア提供)を通じて、一般ユーザー向けに東京都23区内のリアルタイムの渋滞状況や渋滞予測などの交通情報の提供を開始します。また、本サービスを順次全国主要都市へ拡大する予定です。さらに、今後、タクシーの配車管理(*2)や物流の運行管理向けなど道路・交通に関わる事業者にサービスの提供をしていきます。



東京都23区の主要道路に情報提供

従来の交通情報は、道路に設置したセンサーで渋滞状況を把握しており、サービスの対象となるエリアが国道や都道などの主要道路が中心でした。また、自家用車からのプローブ情報は、車載端末とセンター間との通信コストの問題から常時リアルタイムに情報を収集することが困難でした。こうしたことから、交通情報の信頼性を向上させるため、サービス提供対象エリアの拡大とリアルタイムな交通情報を得ることが求められていました。

そこで、日立は、走行距離および走行時間の長いタクシーから得られるプローブ情報を活用することによって、従来の交通情報サービスではサービスの適用外であった道路のリアルタイムな交通情報と高精度な情報の提供を可能にしました。本サービスの開始にあたっては、プローブ情報の収集につ

いては、日本交通株式会社から、タクシー配車管理システムの構築については、株式会社日立国際電気の協力を得るとともに、日立が過去 10 年間に開発・蓄積してきたタクシーからのプローブ情報技術と、日立が参画した経済産業省プロジェクト(*3)であるプローブ情報プラットフォームソフトウェアの開発事業化の成果を活用することで実現したものです。

なお、本交通情報提供サービスは、7月25日から26日まで東京国際フォーラムにて開催される日立 uVALUE コンベンション 2007 に出展する予定です。

(*1) 各車両の ID 番号、位置(緯度、経度)、情報の発信時刻、実車・空車状態、高速道路走行中・一般道路走行中などの情報のこと

(*2) タクシー会社の管理センターが、需要のある地域に、タクシーを効率的に配車すること

(*3) 2003 年度から 3 年間かけて実施された ITS プラットフォームとしてのプローブ情報プラットフォームソフトウェアの開発プロジェクト。異業種 7 社が参加し、東京都内のタクシー、バス、トラックを対象に 8,450 台からのプローブ情報の収集、交通情報の生成等を実施。

本サービスの特徴

(1) 広範囲にわたる交通情報を提供

これまでのプローブカーを用いる交通情報システムでは、1 時間に数台程度しかプローブカーが走らないような道路の場合、5 分周期での交通情報の収集および提供ができないという課題がありました。そこで、本サービスでは、日立が開発した推定補完技術(*4)によって、過去の統計と周辺道路の状況を分析し、欠損する交通情報を高精度に推定し補完することで、広範囲かつ安定的な交通情報の提供を可能にしています。これにより、東京都 23 区内の主要道路(国道・都道・高速道)の 80% 以上のカバー率(*5)で常時リアルタイムな交通情報を提供します。

(*4) 現時点でのデータがない道路に対して、過去の統計情報と周辺の現在道路旅行時間等を分析して、現在時刻の道路旅行時間を算出する技術

(*5) 東京都内の全主要道路の中で渋滞情報等の交通情報を提供できる割合

(2) リアルタイムな交通情報の提供

本サービスで用いるプローブ情報は、走行中の数千台のタクシー全車両から 30 秒周期で常時データ収集し、高速に処理することで、5 分間隔でのリアルタイムで精度の高い交通情報を提供します。タクシーで収集するプローブ情報量は、平均的な自家用車の走行距離に換算すると、約 1 万台分に相当します。

(3) 高精度な渋滞予測情報を提供

蓄積した過去のプローブ情報と、日立が開発した特徴空間方式(*6)により、月、曜日、祝日、連休や各種イベントなどの多種多様な交通状況に応じた高精度な渋滞予測情報を提供します。

さらに、道路の右折レーンや左折レーンでの混雑具合をプローブ情報から算出することにより、異なる道筋を通った場合に要する時間を、より高精度に提供することが可能です。

(*6) 交通情報履歴から、「朝の渋滞」「夕方の渋滞」のような基本となる特徴(基本特徴)を抽出し、月・曜日・祝日・連休・季節などの予測したい日の組合せと基本特徴から渋滞情報を予測する方式

提供する交通情報項目

プローブ交通情報として、以下の過去情報、現況情報、予測情報を提供します。

(1) 過去情報

蓄積交通情報(旅行時間、渋滞度、渋滞の長さ)
統計処理した交通情報(旅行時間、渋滞度、渋滞の長さ)
統計主要道路区間旅行時間

(2) 現況情報

現況交通情報(旅行時間、渋滞度、渋滞の長さ)
主要道路区間旅行時間

(3) 予測情報

リアルタイム予測交通情報(短時間; 2時間以内)
統計予測交通情報(中長期; 2時間後~10年後)

本サービス提供分野

(1) 携帯向けコンテンツ提供分野

株式会社エディアのモバイルサイト「ナビダス渋滞予報」を通じて、渋滞のリアルタイムな情報と渋滞予測情報を、ドライバーだけでなく、それ以外のユーザーにも、より広く提供します。

(2) タクシー配車管理業務支援分野

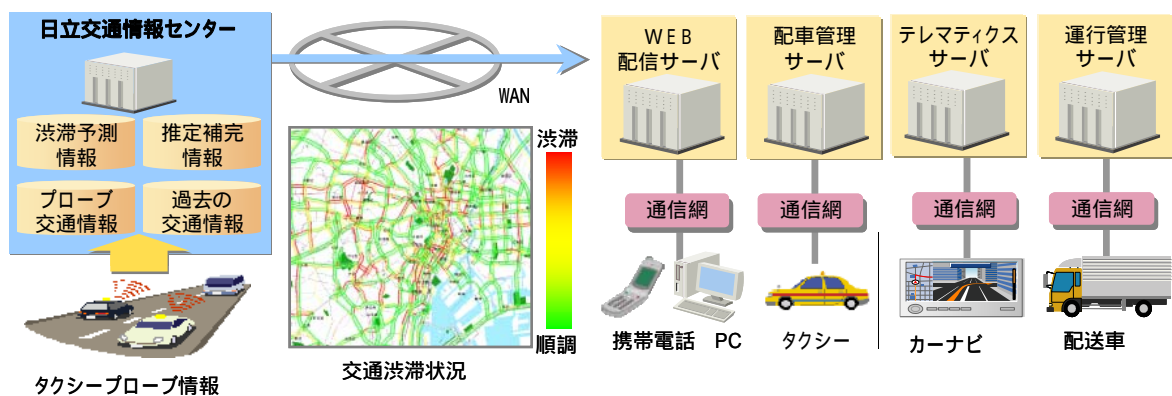
タクシーの配車管理業務向けに、配車車両の交通渋滞を考慮した到着予定時間を提供するものです。これにより、配車の際、お客様に車両の正確な到着予定時刻をお知らせできるほか、目的地までの最速のルートを提供できるなど、顧客満足度の向上につなげることが可能になります。これに加え、各車両のプローブ情報から一台毎の走行軌跡を分析することで、稼働率や地区別の収益分布等の業務管理情報も提供していきます。

(3) 物流会社向け運行管理支援分野

配送管理業務向けに、予測交通情報サービスを提供するものです。これにより、配送管理の計画業務の支援や配送先への高精度な到着予定時刻の提供、遅延情報の連絡を効率よく提供ができ、配送先へのサービス向上が図れます。

(4) カーナビゲーション・テレマティクスサービス分野

カーナビゲーション向けに、統計予測交通情報を提供するものです。これにより、交通情報提供エリアの拡大が可能となります。また、テレマティクスサービス向けに、現況の交通情報やリアルタイム予測交通情報を提供することでサービス向上が図れます。



価格

- ・交通情報基本パッケージ:3,000万円～
- ・交通情報データセット:用途に応じて個別見積もり

販売目標

4年間で20億円の売上を目標としています。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
